

From the
People of Japan

チャド湖流域における安定化と 人間の安全保障の強化

\$ 予算: 3,067,018 米ドル



実施期間: 2023年3月 - 2024年3月

開発課題

カメルーン、チャド、ニジェールは、ボコ・ハラム派による暴力に関連した治安の悪化が続き、気候変動や自然災害も重なったことで多角的な危機に直面している。2022年には、非国家武装集団（NSAG）がチャド湖流域（LCB）地域で700件以上の治安事件に関与し、約1,500人が死亡した。また、この地域は今後10年間、気候変動の影響を最も大きく受ける地域のひとつであり、気温は世界平均の1.5倍の速さで上昇すると予測されている。2022年の雨季には史上最大規模の洪水が発生し、カメルーン、チャド、ニジェール全土で140万人以上が被災した。こうした課題は、人命と生活の損失、食糧不安、強制移住、移動パターンの変化（2022年12月現在、3カ国で約90万人の国内避難民）につながり、その結果、希少な天然資源をめぐる競争や公共サービスへの圧力につながっている。これらの課題は、ウクライナで進行中の戦争の結果である食料・燃料・その他の基本的必需品の価格高騰によって悪化し、長い間社会経済的に疎外され、国家の存在感とサービス提供が制限されてきた国境地帯のコミュニティにおける人道的リスクと開発の課題を複雑にしている。

プロジェクトの目的

このプロジェクトは、カメルーン、チャド、ニジェールの紛争の影響を受けた地域社会における人間の安全保障と国家と地域社会間の社会契約を改善することを目的とし、必要不可欠な社会サービス・インフラを支援し、各世帯に緊急の生活基盤安定の機会を提供し、国境を越えた協力、調整、対話を改善することによって、長期的かつ持続的な平和構築、復興、開発プログラムへの道を開く。

プロジェクトの成果

必須社会サービス
建設および/または改修されたインフラ、および機能的なインフラ

対象世帯に生計の機会を提供

国境を越えた
協力、調整、対話

パートナーシップ

加盟国
財務および技術パートナー

SDGs への貢献

